

人生夢會議

氏名

老健いこい「人生夢会議」へのご案内

人生の晩年をどう生きるか、そしてお迎えをどう受け入れていくのかという問題は、とても大切で、じっくり考えてみる必要のある大きなテーマです。

そこで、老健いこいでは、ご利用者に対して満足度の高いケアやリハビリを提供するために、ご利用者と家族、そして老健いこいの多職種の職員との間で、話し合いの機会を設けることにし、これを「人生夢会議」と命名しました。

この人生夢会議の主旨は2つあります。

- 1) 人生の晩年をより心豊かに有意義で満足のいくものにするには、何を大切にし、どう取り組めばいいのか？
 - 2) お迎えを受け入れるにあたっては、あくまで延命医療を望むのか、それとも安らかな尊厳死を望むのか？
- 1) 2) 共にとても大切な問題です。

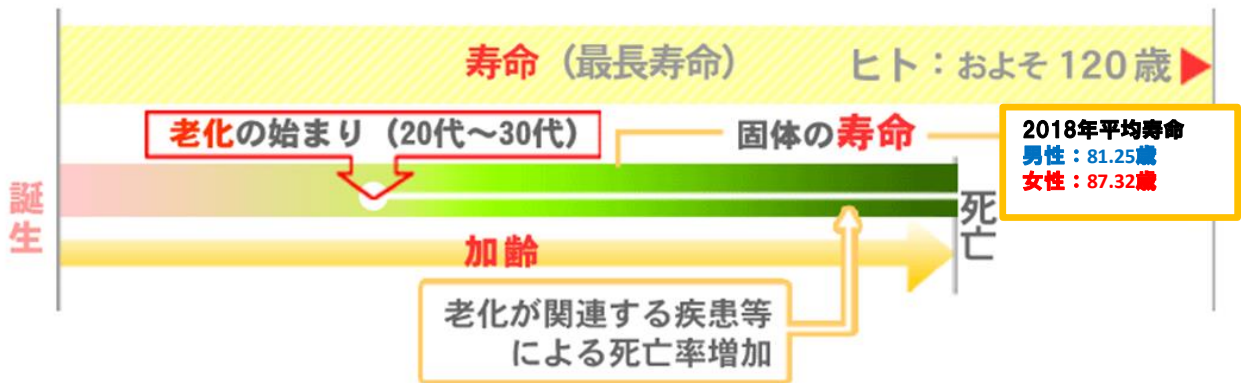
この人生夢会議の中で、そんなことを、ご利用者自身の意志や希望を吐露していただきながら、支える家族の皆さんの希望や、職員が提供すべき支援について話し合ってみたいと考えています。

この人生夢会議を通して、ご利用者の皆さんに、より有意義な晩年を過ごしていただき、そして、みんなが満足できる安らかな看取りを実現できたらと全職員が願っています。

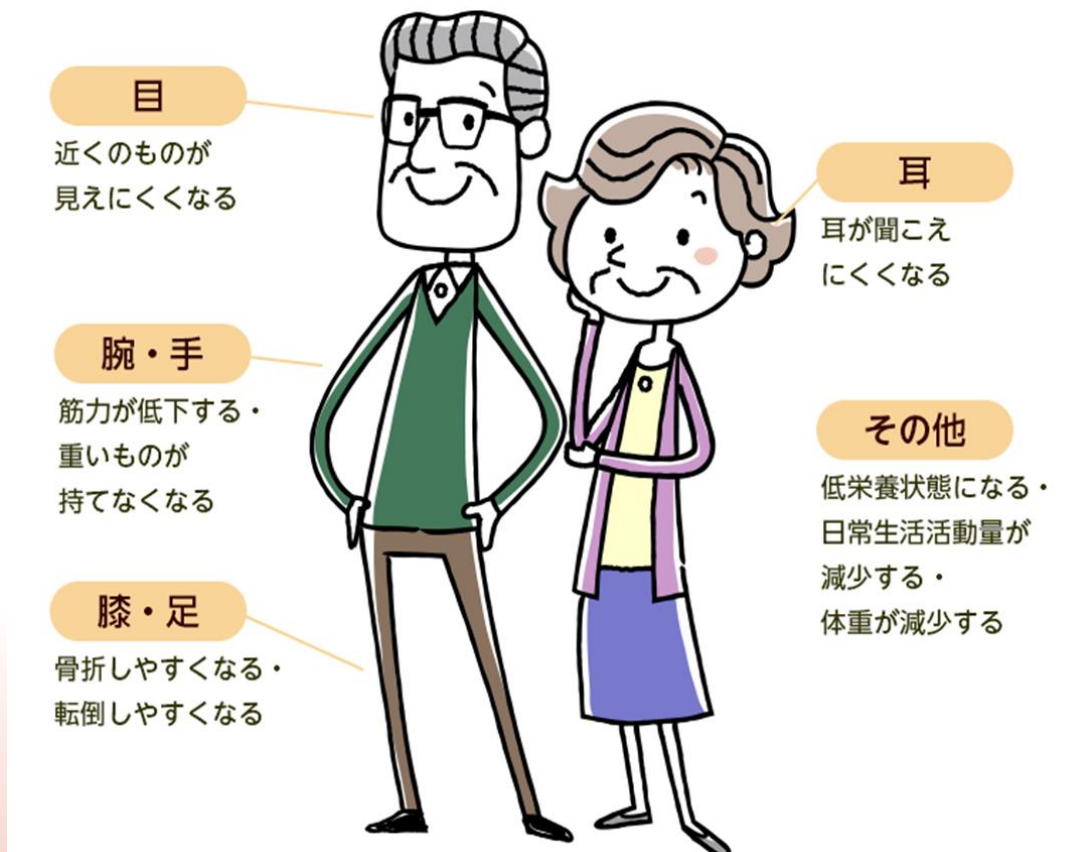
依田窪老人保健施設 いこい
施設長 石橋久夫

年を重ねるということは

- 加齢とは、生まれてから死ぬまでの時間経過、すなわち暦年齢を示します。
- 老化とは、全ての人に起こる加齢に伴う生理機能の低下です。機能低下の速さはすべての人が同じではなく、個人個人バラバラです。病気が機能低下に繋がることもあります。



高齢者の身体的特徴



介護が必要になるきっかけ

(平成25年国民生活基礎調査より)

- 1位 脳血管疾患 18.5%
- 2位 認知症 15.8%
- 3位 高齢による衰弱 13.4%
- 4位 骨折・転倒 11.8%
- 5位 関節疾患（リウマチなど） 10.9%



多くの高齢者が**病気や認知症、骨折などをきっかけ**として介護が必要な状態になっています。



自然死・尊厳死とは



自然死とは、病気が直接の原因ではなく、年を取って自然に**老衰**で死亡することです。

また、重い病気で回復の見込みのない状態の人が、延命治療をせずに自然に死を迎えることを、日本では**尊厳死**と呼んでいます。

自然死を迎える理由

加齢に伴い、体を構成する細胞の組織の能力が低下し、全身の臓器の機能が低下します。胃腸の機能も低下して、やがて食べることも飲むこともままならなくなり、胃ろうなどをしなければ、やがて死に至ります。

自然死は、高齢者に限ったことではありません。健康そうに見える人が、心不全や呼吸不全によって、突然倒れて亡くなることもあります。

こうした**突然死**も、自然死のひとつです。
(ぴんぴんコロリとはこのような状態...)



いこいにおける人生会義とは

今まで生きてきた人生を振り返り、これからの人生をより豊かにしていくために、ご自身やご家族の「生きること」や「お迎え」について考えてみませんか？



あなたのことを教えてください

名前

生まれた所

今住んでいる所

家族構成

子ども 人

兄弟 人

孫 人

一緒に暮らしている家族の名前



あなたのことを教えてください

職業（いつまで現役でしたか？）

趣味・特技（昔やっていた事・今もやっている事）

愛読書 

思い出の音楽 

好きなテレビ番組

好きな食べ物・飲み物



今までの人生で大切にしてきたこと

（例：諦めないこと、我慢すること、自分の気持ちを大切にすること 等）

今までの人生でやり残したと思うこと

（例：旅行に行きたかった、家族と向き合って話をすればよかった 等）

これからの人生をどのように送りたいですか

（例：ひ孫の顔を見たい、温泉旅行に行きたい、家族の手料理を食べたい 等）

もしものときのために考えてみましょう

もし生きることができる時間が限られているとしたら、あなたにとって大切なことはどんなことですか

- 家族や友人のそばにいること
- 仕事や社会的な役割が続けられること
- 好きなことができること
- できる限りの医療が受けられること
- 少しでも長く生きること
- 身の回りのことが自分でできること
- 家族の負担にならないこと
- 一人の時間が保てること

(複数回答可)

なぜそう考えたか、その他にも思いつくことを自由に書いてみましょう (例：孫の成長を見届け、孫の記憶に残りたい)

医師からの病気の告知について

- ありのまま告知して欲しい
- 病名は告知して欲しいが、余命は告知して欲しくない
- 全て告知して欲しくない
- 家族の判断に任せる
(家族の誰に任せますか：)

口から物が食べられなくなった時について

- 胃ろうなどで人工的に栄養を補給して、できるだけ長く生きたい

(胃ろう：腹部に穴を開けて管を通し、栄養を補給する方法)



- 胃ろうなどはせずに、自然に任せてほしい
水分摂取の為の点滴だけはしてほしい

(全身の機能低下が起こると、沢山の水分を入れることはかえって体の負担になり、苦しくなってしまいます。そのためいこいでは脱水による苦痛を緩和する目的の点滴を1~5日間実施するのみとしています。)

人生の最期に食べたい物、
食べさせてあげたい物は何ですか？

()

人生の最期はどこで迎えたいですか？

- 自宅
病院
施設
その他 ()

あなたのお迎えに対しての想いに近いものはどれですか

- 早くお迎えが来てほしい
寿命がくればお迎えが来るものだ
まだまだ年齢的にもお迎えには早い
やり残したことがあるため、まだ元気でいたい
その他



依田窪老人保健施設 いこい